

つなげよう つながろう
ふたさぼのわ



- ▶ 令和4年度双葉郡スポーツ交流大会 (P2・3)
- ▶ 2022七夕企画 星に願いを (P4) ▶ リモートで繋がる! タブレット交流会 (P5)
- ▶ Pray for Ukraine ~双葉町から願う平和のコンサート~ (P6)
- ▶ スマイルフォト・タブレット豆知識 (P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・今月のオフショット (P8)

表紙は
令和4年度双葉郡
スポーツ交流大会

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: 双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたさぼのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



令和4年度双葉郡スポーツ交流大会

7月3日、富岡町と楡葉町を会場に令和4年度双葉郡スポーツ交流大会が開催されました。

昨年、一昨年とコロナ禍で大会が中止となってしまったため、3年ぶりの開催となった今大会。双葉町は野球、バレーボール、剣道、バスケットボールの4種目にエントリー。各種目、夏の暑さに負けない熱戦を繰り広げました。

バレーボール

富岡小中学校校体育館ではバレーボールの試合が行われました。前回優勝したチームの勢いはそのままに、初戦の対浪江町では、大きく点差をつけて快勝。続く二回戦の相手は広野町。第1セットは接戦の末、双葉町が先取。第2セットも優勢に試合を進めますが、徐々に点差が縮んでいき、デューズで延長に突入。互いに攻防が続く白熱した戦いとなりましたが、見事激戦を制し優勝を収めました。試合後、菊池監督は「最初から優勝を狙ってはいたが、練習量が少なくて心配していた。しかし、選手の皆さんがついてきてくれて嬉しかったし、優勝できて本当に良かった。9月に開催される県民スポーツ大会でも優勝を目指したい」と力強く話しました。



バスケットボール

楡葉町のならばスカイアリーナを会場に熱戦を繰り広げたのはバスケットボール。

初戦の相手は浪江町、前半は一進一退の試合運びとなりましたが、得意の速攻が決まるなど64-60で浪江町を下しました。

二回戦も楡葉町を相手に危なげなく勝利を収めた双葉町チーム。得失点差により残念ながら優勝は逃しましたが、持ち味のチームワークを武器に今大会を戦い抜きました。新家大介キャプテンは「このチームはメンバー同士が普段から仲が良いのでチームワークが持ち味。初戦は相手チームの出場メンバーがわからず対策が取れなかったため、接戦になってしまった」と今大会を振り返りました。





剣道

富岡町総合スポーツセンター武道館で行われた剣道の試合には、双葉町を代表して西崎選手、本田選手の2人が出場。一瞬で技が決まる緊迫した空気の中、竹刀がぶつかり合う音が会場全体に響き渡ります。残念ながら西崎選手は一回戦、本田選手は二回戦で敗退となりましたが、真



剣に戦う選手たちの姿に会場からは惜しめない拍手が送られました。

試合を終えた本田選手は「怪我をしてみたい、練習もあまりできていない中でこの大会だった。来年また頑張りたい」と悔しさをにじませていました。



野球

快晴の下、檜葉町のSOSO・RETECならばスタジアムで浪江町を相手に行われた野球の第一試合。前半から両チームともに打撃が好調で次々と得点を重ねる展開となりました。双葉町チームは8番橋本選手の2打席連続ヒットなどで4点を返すも、初回の失点がひびき惜しくも10-4で敗退しました。試合を終えた双葉町チームの加藤監督は「暑さのせいもあると思うが、全体的に体ができていないと感じた。チームの特徴としては若い選手が多いので、走・守ともに期待のできるチーム。9月の市町村対抗野球は前回大会でベスト16まで勝ち進んだので、今年も全力で頑張りたい」と次の目標を掲げました。



いわき・まごころ双葉会 七夕飾り



7月1日、双葉町のJR双葉駅でいわき・まごころ双葉会の皆さんが七夕飾りの設置を行い、自治会役員を中心に10人が参加しました。

いわき・まごころ双葉会として七夕飾りを設置するのは今年で最後になるということで、参加者からは「今年が最後だから綺麗に飾らないと」「ひとつひとつみんなで作ってたんだから、いろいろな思いが詰まってる。感無量だ」と、これまでの活動を振り返りながら6本の七夕飾りを設置しました。

いわき・まごころ双葉会の横山会長は風に揺れる七夕飾りを前に「双葉町が明るい光に包まれるように願いたい」とこころささぐに対する思いを話しました。

展示は7月1日から7月15日までの約2週間行われ、双葉駅を訪れた人々を楽しませました。

2022七夕企画

星に願いを

七夕は、織姫と彦星が会うことを許された年に一度の特別な日。
色とりどりの七夕飾りを作ったり、短冊に願いを書いて笹の葉に吊るしたりと全国各地で様々なイベントが開催されています。今月のふたばのわでは七夕に関する取り組みや皆さんの願いをご紹介します。

双葉町立小学校・ふたば幼稚園 七夕集会

7月6日、いわき市の双葉町立学校仮設校舎体育館で七夕集会が行われ、双葉南・北小の児童とふたば幼稚園の園児が参加しました。この日は集会委員による「たなばたのおはなし」の紙芝居や、先生たちの願いごとを当てる七夕クイズなどが行われました。幼稚園と小学校各学年の代表者が七夕の願いごとを発表する場面では「キーキ屋さんになりたい」「プロ野球選手になりたい」など大きな声で元氣いっぱい将来の夢を発表しました。



タブレット交流会 (南相馬市)

6月21日、南相馬市の原町区福祉会館でタブレット交流会が行われました。この日の参加者は4人、町が配布しているタブレットの使い方や便利な機能について学びながら参加者同士の交流が行われました。交流会の中で行ったレクリエーションで皆さんに七夕の願いごとをお聞きしたところ、「双葉でまた桜が見たい!」「ウクライナが早く平和になりますように」「早く双葉町に帰れるように!」等、様々な願いごとが短冊に書かれました。こちらはタブレットのふたばアプリ内、自由広場でもご覧いただけます。





リモートで繋がる！ タブレット交流会

7月21日、埼玉県加須市のキャッスルきさいでタブレット交流会が開催されました。町から貸与されているタブレットを活用して、町民同士のコミュニケーションを活性化させようという目的で県内外の各地で開催されているタブレット交流会。この日はまずタブレットの使い方の確認から始まりました。続いて、同時にいわき市勿来酒井団地集会所でも開催されているタブレット交流会とオンラインで繋ぎリモート交流会が行われました。プロジェクトで両会場が映し出され、まずはお互いにかメラに向かって一人ずつ挨拶をしました。次に会場それぞれのタブレットに上がっている写真のスライ

ドショー動画を鑑賞しました。最初はオンラインで話すことに少し緊張している面持ちでしたが、しばらくすると慣れてきてお悩み相談をしたり、最近双葉町に行ったかというような近状を話したり、皆さん笑顔で会話を楽しみました。普段なかなか会えない人とリモートで繋がったことで参加した方からは「知っている人の顔が見られてよかった、離れていてもお話ができて楽しかった」と感想を話していました。

タブレット交流会はタブレットの使い方がわからない方はもちろん、お友達への近状報告の場にもなるので、皆さんぜひお近くの会場に足を運んでみてください。





双葉町から願う平和のコンサート
Pray for Ukraine



山本敦子さん(写真左)からのメッセージ

カテリーナさんとの出会いは2014年3月10日。避難先の横浜市で行われた「追悼の夕べ」というイベントでした。当時、ユニセフのボランティアに所属していて、主催団体とのつながりもあり2014年、2015年の2年間司会をつとめたのですが、そのイベントにカテリーナさんも出演していました。

コンサートを開催しようと思ったのは当時、福島に思いを寄せていつも被災者のことを考えてくれていたカテリーナさんに、同じ原発の被災地である双葉町に来ていただいて当時の恩返しをしたいと思ったことが理由です。募金・寄付という形に残る支援を呼びかけること、カテリーナさんの演奏、マリヤさんの体験を聞くことで多くの人がウクライナに気持ちを寄せてくれることを願って企画しました。

6月25日、双葉町産業交流センター「Pray for Ukraine」双葉町から願う平和のコンサート〜が行われました。
このコンサートは同施設内のファーストフード店ペンギンの山本敦子さんが企画したもので、ウクライナ出身の音楽家カテリーナ・グジーさんを招いて開催されました。

ました。途中、今年3月にウクライナのキエフから避難してきたカテリーナさんの母マリヤさんもステージに登壇、ウクライナの民謡などを二人で披露した後、自身が体験した様々な出来事を語りました。
来場者は「生まれ育ちが違っても音楽は共通して人の心に届くんだと感じた。故郷のことを思うと辛いだろうに、このような活動をされていると知って心を打たれた」と話しました。会場には募金箱が設置され、募金をする人やCDを購入する人の姿も多く見られました。



今月の情報掲示板はお休みします

ふたばのわ スマイルフォト



6月25日(土)
Pray for Ukraine
～双葉町から願う平和のコンサート～(双葉町内)



6月30日(木)
両竹地区農地安全管理
(双葉町内)



7月1日(金)
いわき・まごころ双葉会七夕飾り
(双葉町内)



7月3日(日)
双葉郡スポーツ交流大会
(檜葉町)



7月13日
タブレット交流会(郡山市)



知って得する タブレット豆知識 ～タブレットの動きが遅い時の解消方法～


町貸与のタブレットの動きが遅いと感じている方へ

キャッシュデータを削除してみましよう!

『キャッシュデータ』とは?

インターネットなどで閲覧したデータを一時的に保存するものです。次回、同じサイトを閲覧する時にこのデータを使って、すばやく表示させることができます。便利な一方で、古いキャッシュデータがたまっていると、タブレットの動作が重くなる原因にもなります。「キャッシュデータの削除をやったことがない!」という方はぜひ一度、お試しください。

1 左上のdocomoマークに指(ペン)を置きそのままになぞる

2  右上の「設定」をタッチ

3  端末管理  「情報管理」の中の「端末管理」をタッチ

4  ストレージとUSB  「ストレージとUSB」をタッチ

5  内部ストレージ 18.14GB / 22.77GB  「内部ストレージ」をタッチ

6 画面の中央を指(ペン)で下から上になぞるとキャッシュデータのボタンが出てきます

キャッシュデータ 101MB  左のように数字に変わるまで待ちましょう

7  「キャッシュデータ」をタッチ

8 『キャッシュデータを削除しますか?』と表示されたら

 「OK」をタッチして完了

ホーム「〇」ボタンをさわって最初の画面へ戻りましょう

画面に表示される言葉やマークが違う、操作方法がよくわからないなど、お困りのときはお電話下さい。

ふたばアプリ運営サポートセンター ☎0120-274-280 【受付時間 平日 9:00 ~ 18:00】

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

令和4年7月22日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.11~0.23
- ②福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.14
- ③郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.09
- ④白河市 県白河合同庁舎 …… 0.09
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.08
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.06
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.08
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

原子力規制委員会ホームページより
※「細谷地区 消防屯所前」は7月20日測定

地区	地点	平成24年 4月1日	令和4年 7月22日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.17
新山	新山公民館	—	0.14
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.17
新山	双葉南小学校	—	0.20
新山	双葉中学校	—	0.16
新山	県立双葉高等学校	—	0.21
新山	中央公園	—	0.20
新山	高万迫	—	0.70
下条	双葉総合公園	2.60	0.54
下条	双葉町役場	—	0.20
郡山	郡山公民館	1.48	0.27
細谷	双葉町仮設処理第一施設北側	—	0.32
細谷	消防屯所前	—	0.60
細谷	細谷公民館	—	調整中
三字	三字公民館	2.53	0.15
山田	山田農村広場	24.47	2.86
石熊	石熊公民館	12.10	調整中

地区	地点	平成24年 4月1日	令和4年 7月22日
長塚	双葉町体育館	6.25	0.40
長塚	長塚二公民館	3.26	0.20
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.19
長塚	町西住宅	—	0.15
長塚	JA ふたば北部営農センター	—	0.98
長塚	双葉北小学校	—	0.36
長塚	ふたば幼稚園	—	1.02
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.27
長塚	双葉町児童館	—	0.22
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.27
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	調整中
寺松	寺松公民館	3.46	0.70
渋川	渋川公民館	1.48	0.32
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.54
中田	中田公民館	0.77	0.15
両竹	両竹公民館	0.54	0.07
浜野	双葉町産業交流センター	—	調整中

全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶ <https://www.erms.nsr.go.jp/nra-ramis-web/g/>

ふたさぽミニコラム

夏本番を迎え暑い日が続きますが、皆さまお元気でしょうか。

私はというと、今年の6月に主人の実家の家庭菜園でじゃがいも掘りを手伝いました。子どものとき以来の芋掘りに、昔を思い出しながら夢中で土を掘り返していると、1cmくらいの可愛らしいものからこぶしほどのものまで、土の中からじゃがいもがどんどん出てきます。

収穫したじゃがいもを沢山いただいたので、家に帰って早速大好きなポテトサラダを作りました。

木幡 友紀恵



今月のオフショット 双葉町にも「ポケふた」が!



7月19日

ドローン撮影で町内に行った際に、産業交流センターの前で発見!
ポケモンのラッキーとヒマナツツが描かれていました。